

能楽堂新聞

11 2016

唐織 からおり

代表的な能装束の一つで、女性を演じる際に用いられる。朱が入っているものは若い女性役で、入っていないものは中年以降の女性役で使用する。

10月2日(日)、裏千家淡交会大分支部による「観月茶会」が開催されました。館内には季節の花と花器が添えられていつもと少し違う雰囲気。二か所に分かれて薄茶と濃茶が振る舞われ、来場者はお茶とお菓子を楽しましました。



裏千家淡交会 観月茶会



民謡・民舞大分県連合大会

10月9日(日)「民謡・民舞 大分県連合大会」が行われました。県内各地の民謡愛好家が一堂に集まり、計百六十四名の出場者が練習の成果を披露しました。出場者は年代ごとに七つのグループに分かれ、グループ内で芸を競います。この大会で優秀な成績をおさめた方には、今度は全国大会の



舞台が待っているそうです！ また、教室ごとの発表で合奏や踊りを楽しむ「鑑賞の部」では、客席のみなさんも一緒に民謡を楽しみました。



能を大成したことでお馴染みの世阿弥は將軍・足利義満の寵愛を受けましたが、義満の死後、次代將軍は金春流の金春禅竹を擁し、世阿弥を佐渡島に島流しにしてしまいました。流された先の佐渡島で世阿弥は農民たちへ娯楽として能を教えました

た。その影響で、佐渡島には数多くの能舞台が作られました。現在でも使用できるものは少なくなっていますが、それでも五十四の能舞台が残っているそうです。

平和市民公園能楽堂では、月二回「能を楽しむ会」による「演ってみよう能楽堂で！能チャレンジ・能っもおもしろい！観世流こども能楽教室」が開催されています。教室は8月から開講されており、約二十人のこどもたちが能の謡や仕舞のお



10月8日(土)「能楽入門講座」第七回目が開講されました。今回参加された皆さんは本日が初めての参加ということで、導入部分と「吉野天人」の謡・仕舞を中心に体験していただきました。能楽

堂に初めて来た人でも本物の能舞台でお稽古ができるのは、体験講座ならではですね！ 今回の能楽堂新聞では、講師の馬野先生のお話に登場した能にまつわるエピソードから一部を紹介いたします。



稽古に励んでいます。参加したこどもたちは、来年1月22日(日)に能舞台に立ち、練習した仕舞をお客さまの前で披露します。

能楽入門講座

7

能楽堂休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
11月	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30		
12月	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
1月	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			

編集長より

やっと暑さが去ったかと思った矢先、急に冬が来たかのように寒くなりました。そのせいかはわかりませんが、つい先月のこともはるか昔のことに感じながら新聞を編集していました。

この時期になると毎年取りかからねばと思うのが年賀状。プライベートで出す人は減少している傾向にあるとも言われ、私もそのうちの一人ですが、数が減ったので以前はパソコンで作って印刷していたものをここ数年は全部手書きで作っています。今はインターネットでデザインを決めてそのまま相手に送ることができたりと、作り方も送り方もさまざまな形になっていますね。みなさんはどのように作っていますか？

能チャレンジ・能っもおもしろい！
観世流 こども能楽教室





能舞台での「平家物語」の引き語りには臨場感に溢れ、客席にも凜とした空気が流れていました。福原さんと藤倉さんによる楽器の解説や、由布市立庄内小学校の児童のみなさんによる「耳なし芳一」の朗読に琵琶と笛・鼓で演出を加える共演も行われました。

大分県学校生協の組合員と、一流の演奏家みなさんに、音楽に触れてもらう特別企画だそう、琵琶奏者の上原まりさん、笛奏者の福原徹彦さん、小鼓奏者の藤倉呂英（とうしやろえい）さんらによる邦楽演奏が披露されました。

10月15日(土)「学校生協創立50周年記念行事上原まり琵琶演奏会」が開催されました。



上原まり
琵琶演奏会



入賞者は能舞台の上で一人ずつ賞状と賞品が授与され、客席からは盛大な拍手が送られました。作品は市内のアートプラザにて展示されました。



10月22日(土)「第28回MOA美術館大分児童作品展」が開催されました。熱海にあるMOA美術館がこどもたちの創作活動を奨励するために毎年四百会場以上で開催している児童作品展です。楽屋ではMOA美術館所蔵品の展示、エントランスではお茶会も実施され、多くのご家族で賑わいました。

MOA美術館
大分
児童作品展

これからの行事予定

おおいた人権フェスティバル2016

12月4日[日] 12:20 開場 13:00 開演 15:00 終演予定
 入場料 / 無料
 定員 / 300名 (当日先着順)
 内容 / 和太鼓ユニット「絆」による演奏
 谷本直也氏(和太鼓ユニット「絆」代表)の講話
 お問い合わせ先 / 大分市社会教育課 [097-537-5722]

在宅医療と介護に関する市民講演会

12月17日[土] 13:30 開場 14:00 開演 15:45 終演予定
 入場料 / 無料
 内容 / 医師等の講演
 お問い合わせ先 / 大分市長寿福祉課 [097-537-5746]

第4回大分市民謡連盟おさらい会

12月18日[日] 9:30 開場 10:00 開演 16:00 終演予定
 入場料 / 無料
 内容 / 民謡のおさらい会
 お問い合わせ先 / 大分市民謡連盟

能楽入門講座

12月23日[金] 10:00 ~ 12:00
 講師 / 観世流能楽師シテ方 馬野 正基
 参加費 / 500円
 定員 / 25名 先着順・要予約
 募集 / 定員に達するまで随時
 内容 / 未経験者のための体験型能楽講座。(高校生以上対象)
 ※現在能楽師の先生に個人的に習っている方はご遠慮下さい。
 お問い合わせ先 / 平和市民公園能楽堂 [097-551-5511]

能楽サロン vol.4

12月24日[土] 14:00 ~ 16:00
 講師 / 観世流能楽師シテ方 馬野 正基
 参加費 / 1,620円 お茶・京都「御菓子丸」のお菓子付き
 定員 / 25名 先着順
 募集 / [友の会先行]2016年11月15日 10:00 ~ 11月22日 17:00
 [一般]2016年11月23日 10:00 ~ 12月6日 17:00
 内容 / 能の体験型ワークショップ。「能楽の祭典」事前講座など。
 申込方法 / 住所・氏名・電話番号・参加人数を平和市民公園能楽堂までご連絡下さい。白足袋をお持ちの方はご持参下さい。
 (能楽堂でも貸出致します)
 お問い合わせ先 / 平和市民公園能楽堂 [097-551-5511]

能装束・能面展

12月25日[日] ~ 1月14日[土]
 10:00 ~ 17:00 (最終入場 16:30)
 入場無料
 最終日は「能楽の祭典」公演日のため、入場には公演チケットが必要です。
 お問い合わせ先 / 平和市民公園能楽堂 [097-551-5511]

※予定は都合により変更になる場合がございます。教室予定は定期的に行われる教室のみ掲載しております。

教室のご案内

能を楽しむ会

12月6日[火] 9:00~12:00
 12月7日[水] 13:00~17:00
 12月13日[火] 9:00~12:00
 12月14日[水] 13:00~17:00
 12月20日[火] 9:00~12:00

喜多流教室

12月2日[金] 13:00~17:00
 12月9日[金] 13:00~17:00

演ってみよう能楽堂で!

能チャレンジ・
 能っておもしろい!
 観世流こども能楽教室

12月3日[土] 15:00~17:00
 12月11日[日] 15:00~17:00

萬謡会 (B)

12月6日[火] 18:00~21:30
 12月20日[火] 18:00~21:30

INFORMATION

ご意見・ご感想を
 お寄せ下さい

能楽堂新聞のご意見、ご感想、また、催し物に関するお問い合わせや、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

交通のご案内



大分バス

[大分方面から]
 花津留バス停 (下車徒歩5分)
 牧バス停 (下車徒歩2分)
 [鶴崎方面から]
 乗越バス停 (下車徒歩5分)
 JR日豊線・牧駅 (下車徒歩5分)

QRコード



Facebook



Homepage

http://www.nogaku.jp/
 E-mail: info@nogaku.jp

[Facebook]

https://www.facebook.com/nogaku.jp

月曜休館 [月曜祝日の場合、翌日休館]

平和市民公園能楽堂



Tel / 097-551-5511
 〒870-0924 大分市牧録町1番30号